

第17期第7回常任理事会議事録

日時 昭和48年2月19日(月) 14.00~17.00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 窪田, 川村, 大井, 丸山, 二宮, 駒林, 神山,
河村, 北川, 各常任理事

列席者 中村庶務委員

議長 窪田理事(互選)

報告

[庶務]

1. 1月31日, 日本学術振興会会長から, 第9回秩父宮記念学術賞選考の結果, 本学会推薦の「山の気象研究会」は入賞しなかった旨の通知がきた。

2. 日本学術会議広報委員会委員長から照会のあった学術会議を介して政府に勧告申し入れ等をしてもらいたい事項をまとめ1月18日提出した。

3. 会費を1年6カ月以上滞納している会員50名に対し請求した。

議題

1. 昭和48年度学会賞, 藤原賞について

推薦委員会から報告のあった下記のことを全理事に可否の投票を依頼する。

学会賞候補 武田喬男 長続きする降水セルに関する
数値シミュレーション的研究
藤原賞候補 畠山久尚 多年にわたる大気電気学に関する研究および著作を通じて
の啓蒙と教育

2. 日本学士院会員候補者の推薦について

1月18日付官報に学士院会員候補者推薦の掲載があ

り, 第4部会に気象関係の人がいないので, 山本義一会員を候補者として推薦することにした。理事長の裁決を得て申請する。メ切2月28日。

3. 南極研究観測について

気象研究観測の経過が説明され, 第15次, 第16次は予算要求は見合せ, 第17次を目途に研究テーマを決め, 極地研究センターに要求する。これについて小平庶務理事を臨時の担当理事とし, 南極特別委員会の関口氏とコンタクトする。必要なら常任理事会で担当理事を決め委員会を設けることにする。

4. 賛助会費による学会の増収計画について原案を作り次回の理事会に提出することとなった。

5. 来年度の事業計画

南極研究観測委員会の問題, 当面の財政立て直しのための会計委員会設置の問題が討議された。

6. 総会提出議題

入会金の改正, 会費の前納を定款に明記すること, 次回更に検討する。

7. その他

- 1) 関西支部に1名, 気象研究ノート編集委員を任命する。
- 2) 会員が死亡したときは, わかり次第天気黒枠で囲み掲載する。

承認事項

千代田人俊24名の入会を承認。

賛助会員株式会社日立製作所の入会を承認。

夏期大学講座(第7回)

『新しい気象学教室』開催のお知らせ

今年も気象学普及のための「新しい気象学教室」第7回を7月末から8月初めにかけて気象庁において開催する予定です。テーマは「台風特集」とし, 専門家の方々に解説, 講義をしていただく予定です。

この講座は主として, 中・高校の理科ならびに地学担当教員を対象としたものですが, これまでの受講者の御

意見を参考にして, 鋭意計画中です。

なお, 詳しい日程やその内容, 参加申込みの手続きなどについては次号でお知らせ致します。

1973年4月

講演企画委員会